

# 「令和2年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 3 年 4 月 15 日

事業名称		企画業務費 [市長と語ろう会（タウンミーティング）事業]						
予算科目	款 2	総務費	項 1	総務管理費	目 7	企画費	事業番号 1	
事業の種別	<input checked="" type="checkbox"/> 市単独 <input type="checkbox"/> 補助対象 <input type="checkbox"/> 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)							
担当部署・課長名	企画		課		企画担当	係	課長名 荒井 亮二	
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。						施策番号	行 - 3	
【施策名】 市民自治の向上						総合計画書 (ページ)	127	
この仕事の目的	① 誰（何）を対象にしていますか。			① ①の対象数や量を、あらわすもの（対象指標）				
	市民			市民の数（4月1日現在の住民基本台帳人口）				
	→							
この仕事の目的	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]			② ②の状態になった数・量をあらわすもの（成果指標）				
	市民と市長が市政運営に関して率直な意見交換を行うことにより、市民の市政に関する理解の促進を図る。			市民意識調査における「市民参画のまちづくりの推進」に関する市民満足度の割合				
	→							
この仕事の目的	③ そのために何をしましたか。			③ ③をどのくらい行いましたか（活動指標）				
	①テーマ、開催時期、開催回数等について調整を図り、内容を決定した。 ②参加者を広く募集し、市長と語ろう会（タウンミーティング）を実施した。			①タウンミーティングのテーマ数 ②開催回数（単位：回） ③参加人数（単位：人）				
	→							
指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度	成果目標	
				平成30年度実績	平成31年度実績	令和2年度実績	令和3年度目標	令和4年度目標
	対象指標	①の数値	人	85,337	85,266	85,294		
	成果指標	②の数値	%	11.2	11.3	9.3		
	目 標	②の目標値				13,060	14,000	
目標値設定の考え方 第四次基本計画の目標値（令和3年度14.00%）								
活動指標	③の数値		①個 ②回 ③人	①2 ②2 ③95	①2 ②2 ③52	①1 ②1 ③9		
3 経費	事業費（実績）		円	0	11,330	0	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費（再任用職員以外） 年間単価は、 8,380,000円 時間単価は、 4,300円 で計算してください。 【算出根拠】平成31年度決算数値。 (退職手当組合負担金、共済費も含む。)	
	財源	一般財源	円	0	11,330	0		
		特定財源（国・都・他）	円	0	0	0		
		（うち受益者負担）	円	0	0	0		
	人件費（目安）	所要人数(再任用以外)	人	0.1	0.1	0.1		
		所要人数(再任用)	人	0.0	0.0	0.0		
		職員人件費(再任用以外)	円	824,400	831,000	838,000		
職員人件費(再任用)	円	0	0	0				
事業費+人件費		円	824,400	842,330	838,000			
4 環境変化等	(1) 開始年度		平成23 年度					
	(2) 環境の変化		市民と市長が市政運営に関して率直な意見交換を行い、市民の市政に関する理解の促進と市民に開かれた市政運営の推進を図ることを目的に、平成23年度から「市長と語ろう会（タウンミーティング）」を開催しているが、参加人数が開始当初と比較して近年減少傾向にある。そこで、平成29年度から、参加者数の増やテーマに合った方々にご参加いただくことを目的に、市の主催イベントとの同時開催で実施してきた。 令和2年度については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、多くのイベントが中止となり、イベントとの同時開催が困難であったことから、感染症対策を講じながら屋外で実施することとし、サイクリング形式で意見交換を行った。					

事業名称	企画業務費 [市長と語ろう会 (タウンミーティング) 事業]			
担当部署・課長名	企画	課	企画担当	係 課長名 荒井 亮二

5 市民等の意見	<p>この仕事に関して、令和2年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について</p> <p>①令和2年度の実施場所は多摩湖自転車歩行者道・狭山丘陵・多摩湖であり、開催日は日曜日であったことから、多摩湖周辺への一般来訪者が多く、サイクリングは危険ではないかとのご意見をいただいた。</p> <p>②市長との意見交換について、会議室等で行うより、屋外の自然の中で行う方が活発な意見交換ができると感じたことから、また参加したいといったご意見をいただいた。</p>				
6 市民協働	<p>(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。(複数回答可)</p> <table border="1"> <tr> <td><input checked="" type="checkbox"/> 取り組んだ</td> <td>取組手法：③、⑥</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 取り組まない</td> <td> <p>【取組手法の種類】</p> <p>①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成</p> <p>⑥情報提供・情報交換 (広報媒体： ) ⑦後援・場の提供 ⑧その他 ( )</p> </td> </tr> </table> <p>(2)令和3年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点</p> <p>参加者により多く発言していただけるような仕組や進行が必要である。</p>	<input checked="" type="checkbox"/> 取り組んだ	取組手法：③、⑥	<input type="checkbox"/> 取り組まない	<p>【取組手法の種類】</p> <p>①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成</p> <p>⑥情報提供・情報交換 (広報媒体： ) ⑦後援・場の提供 ⑧その他 ( )</p>
<input checked="" type="checkbox"/> 取り組んだ	取組手法：③、⑥				
<input type="checkbox"/> 取り組まない	<p>【取組手法の種類】</p> <p>①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成</p> <p>⑥情報提供・情報交換 (広報媒体： ) ⑦後援・場の提供 ⑧その他 ( )</p>				
7 課題	<p>(1)令和2年度に課題とした内容(「平成31年度に実施した仕事」の振り返りシート7課題(3)を転記)</p> <p>幅広い世代の方々やテーマに合った方々にご参加いただけるよう開催方法を工夫していく必要がある。</p> <p>(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、令和2年度に実施したこと。</p> <p>幅広い世代やテーマに合った方々にご参加いただけるよう開催方法を工夫することに加え、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を講じる必要があったことから、屋外でのサイクリング形式とし、市内の名所である狭山丘陵や多摩湖を実際に走り、その魅力の発信等をテーマに意見交換を行った。</p> <p>(3)(2)を踏まえた今後の課題(仕事の最適化・合理化の提案)</p> <p>今後も、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を講じながら、幅広い世代の方々にご参加いただけるよう内容を工夫していく必要がある。</p>				
8	<p>施策貢献状況 (この仕事は、総合計画(基本計画)に掲げる課題の解決手段になっているか。)</p> <p>施策名： 市民自治の向上</p> <p><input type="checkbox"/> なっている <input checked="" type="checkbox"/> 環境の変化等により成果が減少している <input type="checkbox"/> 類似の事業が他にあり改善の余地がある 事業名 ( )</p>				
9 今後の方向性	<p>(1)仕事の方向性(「7 課題(3)」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など)</p> <p><input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止</p> <p>【取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、市民と市長が市政運営に関して率直な意見交換を行うことができるよう、開催方法を工夫する必要がある。</li> <li>より多くの人に参加してもらえるよう、広報手段として、ポスター掲示、市報、ホームページのほか、ツイッターやフェイスブックを有効活用する。また、今後も幅広い世代の方々にご参加いただけるような内容を検討していく。</li> </ul> <p>(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等</p> <p>新型コロナウイルス感染症の感染状況に応じた開催内容を検討する必要がある。また、広報については、広報担当部署である秘書広報課と連携を図り、迅速で効果的な広報を行う。</p>				